

# 新技術

## 125kN動電型加振機

今回、新たに大型の動電型加振機を導入しました。加振力が125kNあり、動電型の加振機としては、最大クラスの性能となります。また加振可能な変位量が水平100mm<sub>p-p</sub>、垂直51mm<sub>p-p</sub>あり、低い周波数での振動再現を可能にしたのが特徴です。

この特徴を生かし、建設機械のキャビンの振動再現試験のほか、自動車のハーフボディ状態での各種部品の評価、スケールモデルを用いた地震波再現試験などの利用が可能です。

また、各分野とも樹脂部品やゴム関係の部品使用が増えており、それに対応するため、温度管理下での加振に対応できる恒温槽の導入も検討しており、恒温槽つき24kN動電型加振機とあわせて、小型部品から、大型部品までのあらゆる素材への加振試験対応を進めていきます。

### ■性能表(125kN動電型加振機)

	垂直方向加振	水平方向加振
加振力	正弦波 ランダム波	125kN 75kNrms
最大加速度	96m/s <sup>2</sup>	
最大速度	1.0m/s	
最大変位	51mm <sub>p-p</sub>	100mm <sub>p-p</sub>
可動部質量	1300kg(拡張板取り付け時1400kg)	
周波数範囲	1~100Hz(拡張板取り付け時1~50Hz)	
最大搭載質量	1500kg	
振動台寸法	2000×1500mm(拡張板取り付け時2000×2000mm)	

### ■装置外観

